

令和元年5月24日

平成30年度政務活動のあらまし

品川区議会自民党・子ども未来

幹事長 渡部 茂

年度当初に品川区議会自民党・子ども未来は11名で活動を開始し、9月に執行された品川区議会議員補欠選挙で1名当選し12名となりました。平成30年度も様々な政務活動をおこなってまいりました。

日頃の政務活動のなかで、区民の皆様の声をお聞きするとともに、各種団体とのヒヤリングを行い、30年度も7月18日～25日の日程で、54団体の皆様からご意見ご要望を頂きました。

その後、政務調査会の検討の結果、10月に194項目に亘る「平成31年度へ向けた政策要望」の取りまとめを行い、濱野健区長に提出致しました。

平成31年度予算におきましても、我が会派から要望した内容が数多く取り上げられました。実現した政策の代表例として小・中・義務教育学校の体育館や格技室等、避難所機能を持つ施設へのエアコン設置、区民避難所66か所等にソーラーパネル付きポータブル蓄電池の配備、地域センター等に発電機器や携帯充電器等の配備、プレミアム商品券の発行額の拡大、高校生の入院医療費助成、保育園児の受け入れが拡大され、昨年今年と定数上、待機児童が解消、コミュニティバスの導入、町会・自治会を支援するために新設された補助金、オリンピック・パラリンピックに向けた1年前スポーツフェスタやパラリンピックスペシャルイベント等、が具体化されました。

この他、介護サービスの充実、文化芸術・スポーツの振興、区民活動支援、就学前教育の推進、環境対策、小中一貫教育の充実、行財政改革の推進など、我が会派からの多くの政策提言が各種事業に取り入れられ実現に向けた取り組みが行われております。

政策提言を行うには実際に行われている状況の把握や現場の確認、他都市の状況把握が必要不可欠であり、区内各所の調査と共に区外の調査も行いました。

代表的なものとして、8月に高知県との地域連携プロジェクトによる交流が始まり、県庁にて品川区内でのPRコーナー設置や地域イベントでの高知県ブースの出展など観光、文化、産業、教育など様々な分野において連携を促進していく協議を行いました。また、オーテピア図書館では県と市の図書館を合築し、科学館併設など複合施設としており、品川区も土地の有効活用を図るには、複合化を視野に入れるなど調査研究して参ります。12月には佐賀県武雄市図書館の先進事例の説明や大井競馬場のイルミネーション開始に合わせ、佐世保市ハウステンボスのイルミネーションの観光振興について調査を行いました。

広報活動として最新情報を伝えるべく「品川区議会自民党・子ども未来」広報誌を3回発行し、区内各種団体代表の皆様方には定期的に広報誌送付を行っております。また、区議会定例会の最終日には区政報告等を含む街頭演説を大井町駅前で行っております。今後も地域に密着し、区民の方々に、しっかりと御理解頂ける活動を行って参りますことをお約束し、「政務活動のあらまし」の報告とさせていただきます。